



ましばやし

増林地区コミュニティ推進協議会ホームページのURL http://homepage3.nifty.com/mashibayashi_comi/index.htm

発行／増林地区コミュニティ推進協議会 ☎343-0011 越谷市増林2丁目82番地 増林公民館内 ☎962-2855

増林小学校タイムカプセル

今年も新学期を迎え、子供達がまた新しい夢に向かってスタートしました。みなさんは、子供の頃の母校にどんな思い出を持っていますか。三月六日(土)増林小学校で十五年前のタイムカプセルを開くイベントがありました。

十五年前老朽化した校舎を改築するにあたり、当時故大井校長先生の提案で、新しく造られる校歌碑の中にタイムカプセルを入れることになり、平成一年三月十九日、在校生三二九人の思い出や夢が詰め込まれました。いよいよ十五年の歳月を経てタイムカプセルを開ける日が来ました。当日は一三〇名もの卒業生・先生・保護者等が見守る中、校歌碑の中からタイムカプセルが取り出されました。緑のプラスチックボックスや黒いビンールで包んだダンボール箱など六点を前に、学年毎の記念写真を撮り、その開封は体育館に設けられたイベント会場で行われました。壇上でひとつずつ開かれる度に、みんな思わず詰め寄り不安と期待で食い入るように見つめていました。十五年を経た思い出の品は、一部は汚れた物もありましたが、文集・習字・カセットテープ・新聞・絵・アルバム等の懐かしい品々が姿を現しました。



その時何を入れたか、何を書いたか、全く覚えていないという人が殆どでしたが、自分の物を手にすると「嬉しいけど恥ずかしい」「こんな事をかいていたのか」と先生や友達と見せ合ったり、出席できなかつた友人に写メールを送り喜んでいました。また、用意されていたカセットにテープを入れてみると、当時の声がそのまま蘇り、聞き入っている姿が印象的でした。

実行委員長の関口さんや鈴木元教頭先生からは、旧校舎が取り壊される前日まで学校をピカピカに掃除していた増林の子供達、この日を楽しみにしていたらつしやつたでしよう今は亡き大井校長先生のお話など、またこれを機会に、より一層友情を深めていつてほしいというご挨拶がありました。

昨年十一月から準備をしてきた実行委員の皆さんも感無量の様子でした。

十八号では、東越谷七丁目の紙谷ひさ子さんをご紹介いたしました。今回は、花田七丁目在住の『榎本和子さん（大正十一年一月二十一日生れ・八十二歳）』をお訪ねしました。

ある日曜日の朝
榎本さんのお宅は、花田苑の近くののどかな住宅地にありました。インターホンを押すと玄関から鮮やかなチェック柄のブラウスを着た榎本和子さんが、出迎えて下さいました。

お話を伺おうとすると、榎本さん自ら「私は、自分の事を「ハッスルバアさん」と言っているのですよ」と。

そこで自ら「ハッスルバアさん」と称する訳をたずねると、榎本さんは増林生まれで、今は亡きご主人と農業で生計を立てておりました。バイクにリヤカーを付けて、野菜や物を運ぶ時代から、自動車の時代へ

と変わりつつあった四十四歳の時、当時主人も持っていなかった車の運転免許を取
得し、登戸方面に引き売りに行つたそ
うです。

「こんなにちは！新鮮なお野菜はいかです
すか。」と言って売りあるくのよ！」と、
可愛い表情で話される。ご主人と二人で作
った野菜は、アツという間に売切れてしま
ったそうです。また、市役所前の月二回の
朝市には、十六年もの永い間出店をされ、
永年の功績に農業団体から表彰をされた嬉
しい思い出もあるそうです。

今は、忙しい農業の合間に少しずつ習い
始めた詩吟で数十名のお弟子さんを持つ立
派な先生として活躍中です。体調不良で辛
い時もあつたそうですが、お弟子さんに励
まされて、昨年三十周年をお祝いすること
ができ、

『教え子の皆さんを立派に育てあげるこ
とが私の役目よ！』と今後の抱負を話され
ました。

他の趣味として、大正琴・謡曲・仕舞を
やっておられ、特に大正琴は、先生に指導
を受ける日以外にも自宅で大勢のお友達と

今年の成人の日は一月十二日(月)でしたが、増林地区では十一日(日)に新成人を祝う式典が東中学校体育館で開催されました。天候にも恵まれ、一・二三名(出席率七二・四%)が参加されました。【越谷市出席率三八・一五%】の成人者中(出席率六七・九%)
就職等厳しい時代の昨今ですが、社会の一員としての自覚と責任を持ち大きく前進して下さい。

週三回の練習を行つてゐるそうです。しかし、永い間農業をされた後遺症が体かと思うようにならない時もあるそうですが、お稽古のある日には元氣が出てくるとか。『好きだから出来るのでしょうね』『お友達と逢えるから頑張れるのでしょうね』と瞳をキラキラさせて語つてくれました。

『その時、その歳にできる事との出逢いがあり、私はとても運が良いのよ!数年前より始めた謡曲や仕舞は、ゆつくりした曲で、特に仕舞は自分の今の体調に合つていつでも氣に入つてゐる。楽しみですよ!』と、八十二歳とは思えないバイタリテイにあふれ、やる氣満々。

永い人生を通して自分が苦労した事で他人の痛みもわかつてあげられる。

悪い時があつたからこそ良いことに感謝ができる。

人生あきらめないで頑張ることが大切。自称「ハツスルバア」さん

そして詩吟の先生、榎本和子さんでした。インタビュを終えて思うに:

「ハツスルバアさん」と言うより、お名前の如くとても和やかで優しいお姉さんのような方でした。

今日は榎本さんに逢えてとてもラッキーな一日で、足取りも軽く帰りました。

西村洋也



長
美
幸

地域の先生方や
地元の方々に祝
されながら、成人
の日を迎えること
ができて、とても
うれしく思っています。



鈴木 太

成人式を迎えた
ことにより自分
にとって節目に
なり様々なこと
を再確認するこ
とが出来ました。

成人になることは自己責任をより一層持たなくてはならないことでもあり、それが社会では一般的です。そして、自己責任を高めることにより、自分の意見をはっきり持ち、投票権を得られることにより、これからの未来を徐々に変えていけると思っています。

成人になつた今、これまでとは違う想像を絶する壁が立ちはだかる時もあると思ひます。「壁は乗り越えられる人だけに立ちふさがる」と言う言葉がありますが、それを信じて自分が今まで以上に成長できるように一杯頑張つていきたいと思ひます。そして、自分自身が納得できるような日々を過ごしていきたいです。

